

石川県発表
令和3年2月24日（水）

商工労働部労働企画課
課長 山森 力
専門員 清塚 大輔
電話 076-225-1533
(内線 4500、4510)

厚生労働省令和2年度「地域発！いいもの」取組選定について

厚生労働省は、平成28年度から地域で行われている「技能振興」、「技能者育成」などに資する特色ある取組を「地域発！いいもの」として選定しており、本県から下記の取組が選定を受ける。なお、本県で3件目の選定となる。

記

1. 取組名 学校で学んだ技術を生かした地域貢献『実高ものづくり隊』
2. 実施団体 石川県立大聖寺実業高等学校（加賀市熊坂町ヲ77番地）
3. 取組概要
授業の実習や部活動を通して培った技術を活かし、地元の小中学校や公共施設等から要望を聞き取り、それに対応するものを製作したり修理したりして課題を解決し、ものづくりで地域に貢献する取組。
4. 評価ポイント
 - ・高校生が主体となって地域に必要とされるものを作っていくことで、地域貢献と実践的な教育を結びつけた取組として評価された。
 - ・要望があれば、異なる種類のものや新しいものにもトライしており、素晴らしい取組として評価された。
5. 選定証及び楯の伝達
 - 日時 令和3年3月18日（木）10:00
 - 会場 石川県立大聖寺実業高等学校（加賀市熊坂町ヲ77番地）
 - 交付者 石川県職業能力開発協会

報道関係者 各位

令和3年2月22日

【照会先】

人材開発統括官付

能力評価担当参事官室

参事官 山地 あつ子

室長補佐 引田 茂

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5968)

(直通電話) 03(3502)6958

令和2年度「地域発！いいもの」に、7都道府県の 企業・団体・学校の取り組みを選定しました

～技能振興、技能者育成の取り組みを顕彰し地域の活性化を図ります～

厚生労働省は、このたび、令和2年度の「地域発！いいもの」に、北海道、福島県、栃木県、東京都、新潟県、石川県、熊本県にある7つの企業・団体・学校の取り組みを選定しました。

選ばれた企業・団体・学校には、各都道府県の地域技能振興コーナー（職業能力開発協会）を通じて「地域発！いいもの」選定証と楯を贈呈します。

この事業は、各地域で行われている「技能振興」や「技能者育成（人材育成）」などに役立つ特色ある取り組みを、「地域発！いいもの」として選定し、国民へ広くお知らせすることにより、地域の技能振興や技能尊重の気運を高め、地域の活性化を図ることを目的とし、平成28年度から毎年1回実施しています。

「地域発！いいもの」に選ばれた取り組みの具体的な内容は、他の企業や団体が参考にできるよう、技能検定制度などに関するポータルサイト「技のとびら」で、2月下旬に公開する予定です。

各取り組みの概要、選定証と楯の伝達式（3月上旬～中旬）に関する取材の問い合わせ先などは、別紙1～3をご参照ください。

■技能検定制度などに関するポータルサイト「技のとびら」

本サイトで、平成28年度から令和元年度までに選定された計34の「地域発！いいもの」の取り組みを紹介しています。また、「地域発！いいもの事例集」として、PDF版の冊子も掲載中です。

・「地域発！いいもの」取り組み一覧

<https://waza.mhlw.go.jp/iimono/sentei/>

・「地域発！いいもの」事例集冊子（PDF版） ※ページの下部に掲載しています。

<https://waza.mhlw.go.jp/sasshi/>

【添付資料】

別紙1 令和2年度「地域発！いいもの」として選定された取組（概要）

別紙2 令和2年度「地域発！いいもの」として選定された取組（詳細）

別紙3 令和2年度「地域発！いいもの」認定証及び楯の伝達式日程等

参考 「地域発！いいもの」応援事業 概要

令和2年度「地域発！いいもの」として選定された取組について(概要)

No.	都道府県	取組名称 (応募企業・団体名)	取組概要及び評価のポイント	○：取組の概要 ◆：審査のポイント
1	北海道	地域のブランド旭川家具を支える取組 (旭川家具工業協同組合)	○職人の高い技術力を基に、全国に旭川家具のブランド名を定着させ、各種イベントを通じて国内外に旭川地域の魅力を発信する取組。 ◆技能五輪全国大会、国際大会に早くから取り組み、優秀な成績を継続して上げており、優れた技能者育成の取組として評価された。 ◆旭川市工芸センター、旭川高等技術専門学院と旭川家具工業協同組合が連携して指導者を育成しており、地域的な広がりも評価された。	
2	福島県	伝統技術「からむし織」伝承と後継者育成 (株式会社奥会津昭和村振興公社)	○昭和村からむし生産技術保存協会や行政等と連携し、からむし原料の調達から製造、販売まで一体的に展開、伝統的な技術継承を行う取組。 ◆伝統的工芸に指定される非常に希少な価値の高い技能伝承であり、原料確保のための販売支援、技能者育成まで一貫して支援している取組として評価された。 ◆地元定着にも結びついており、この点も評価された。	
3	栃木県	「拓陽キスミル」で地域を活性化 ～届け私たちの思い 10,000人の後輩へ～ (栃木県立那須拓陽高等学校 食品化学同好会)	○那須塩原市と連携し、地元牧場の協力の下、オリジナル乳酸菌飲料「拓陽キスミル」を開発。市内の小中学校への製品の提供や食育活動も実施し、市の特産品である乳製品について理解を深めてもらう取組。 ◆高校生が主体となって製品の開発、販売を行い、その人材育成を行う取組として評価された。 ◆小中学校の学校給食への製品の供給、一般販売まで行い製品化した取組として評価された。	
4	東京都	ものづくり教育・学習フォーラム (大田区教育委員会)	○様々な協力団体・企業等と連携して、児童・生徒や保護者等を対象に大田区のものづくり産業への興味・関心を高める取組。ものづくり体験や舞台発表等のさまざまなイベントを行い、例年多数の来場者がある。 ◆教育委員会が中心になって、小中学校、都立特別支援学校、PTAや企業等、多くの関係者が参加しており、地域を巻き込んだ取組として評価された。 ◆全てものづくりをテーマとしたイベントで、多くの来場者があり大田区ならではの取組としても評価された。	
5	新潟県	「テクノ小千谷名匠塾」地域の企業全体で 取り組む技術者養成制度 (小千谷鉄工電子協同組合)	○組合が中心となり、地場産業である機械加工関係の技能を高い水準で維持、継承するよう、企業の垣根を越えて技能者を育成する取組。地域全体で取り組める制度ができたことで、地域産業全体の活性化にも寄与している。 ◆中越地震の影響がある中、地場産業の技能士育成に積極的に取り組んでおり、地域的な広がりも高く評価された。 ◆多数の技能士育成の成果を上げていることも評価された。	
6	石川県	学校で学んだ技術を生かした地域貢献 『実高ものづくり隊』 (石川県立大聖寺実業高等学校)	○授業の実習や部活動を通して培った技術を活かし、地元の小中学校や公共施設等から要望を聞き取り、それに対応するものを製作したり修理したりして課題を解決し、ものづくりで地域に貢献する取組。 ◆高校生が主体となって地域に必要とされるものを作っていくことで、地域貢献と実践的な教育を結びつけた取組として評価された。 ◆要望があれば、異なる種類のものや新しいものにもトライしており、素晴らしい取組として評価された。	
7	熊本県	伝統建築専攻科 伝統建築の技を受け継ぐ 人材を育てる (熊本県立球磨工業高等学校)	○高等学校建築科卒業後の2年課程で宮大工になろうとする人材を育成している。その学生が地元地域の住民や被災者の方々からの依頼を中心に、建築物の新築や修復をする取組。取組を通して建築技術の継承・技能者の育成に寄与している。 ◆宮大工の技能士の育成は希少性があり、技能者の育成の取組として評価された。 ◆高校生の人材育成と震災復興という地域貢献を結びつけている取組として評価された。	

1 取組名

地域のブランド旭川家具を支える取組

2 実施団体

団体名：旭川家具工業協同組合

住 所：〒079-8412 北海道旭川市永山2条10丁目1番35号

3 取組内容

(1) 概要

職人の高い技術力を基に、全国に旭川家具のブランド名を定着させ、各種イベントを通じて国内外に旭川家具の魅力を発信する取組。

(2) 詳細

- ① 旭川家具工業協同組合では平成2年から「国際家具デザインフェア旭川」を3年毎に開催するほか、平成19年に家具づくりの指針となる「旭川・家具づくりびと憲章」を制定、平成27年から旭川家具の魅力を発信するイベント「旭川デザインウィーク」を開催し、旭川家具の特徴である良質な木材を活かし、デザインを重視した質の高い家具作りを進めている。
- ② デザインウィークなどの各種イベントで家具の材料を利用した木工体験などを開催し、木に対する親しみやものづくりの楽しみなど、技能の周知や普及活動を実施している。
- ③ ものづくりマイスターを活用した技能講習会を開催し、技術・技能の向上、後継者の育成を図っている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 旭川家具は「職人の高い技術力」を基にして、全国に旭川家具のブランド名が定着するなど北海道を代表する産業として発展するとともに、海外にも進出を図っている。
- ② 「国際家具デザインフェア旭川」などの各種イベントを通じて内外に旭川地域の魅力を発信し地域の活性化に大きく貢献している。
- ③ これまで技能五輪全国大会や技能五輪国際大会に多くの選手を送り出すなど、地域の技能水準の向上や次世代への技能の継承に大きく寄与している。



1 取組名

伝統技術「からむし織」伝承と後継者育成

2 実施団体

団体名：株式会社 奥会津昭和村振興公社

住 所：〒968-0103 福島県大沼郡昭和村下中津川字中島6 1 1

3 取組内容

(1) 概要

昭和村からむし生産技術保存協会や行政等と連携し、からむし原料の調達から製造、販売まで一体的に展開、伝統的な技術継承を行う取組。

(2) 詳細

- ① 奥会津昭和村振興公社、昭和村からむし生産技術保存協会、村役場のからむし振興室が三位一体となって「からむし」の振興を図っていると同時に、古くから伝わるからむし栽培とその繊維を採取する苧挽きの技術継承を行っている。
- ② 毎年、昭和村からむし生産技術保存協会が栽培、苧引き（おひき）した「からむし」を全量買い取りしている。また、昭和村産からむしで製造した着尺（きじゃく）、帯、ショール、小物類などを販売している。
- ③ 近年、織り職人や糸摘み職人の高齢化が課題となっていることから、後継者育成に努めており、特に、からむし振興室と連携し、振興室が担当する「織姫制度」において、糸づくり、地機織り、高機織りの3コースを設定して講習会を開催するなど、将来に繋がるからむし全般に係る技術者育成に努めている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 昭和村からむし生産技術保存協会や行政等と連携し、からむし原料の調達から製造、販売まで一体的に展開できると同時に、情報の共有ができる事により伝統的な技術継承が行えるようになった。
- ② 行政の奨励金を上乗せして全量買い取りをすることにより、生産者の栽培意欲の向上に寄与している。
- ③ これまでは糸摘み職人の高齢化が懸念されていたが、徐々に後継者の育成が図られている。



1 取組名

「拓陽キスマイル」で地域を活性化 ～届け私たちの思い 10,000 人の後輩へ～

2 実施団体

団体名：栃木県立那須拓陽高等学校 食品化学同好会

住 所：〒329-2712 栃木県那須塩原市下永田 4 丁目 3 番地 5 2

3 取組内容

(1) 概要

那須塩原市と連携し、地元牧場の協力の下、オリジナル乳酸菌飲料「拓陽キスマイル」を開発。市内の小中学校への製品の提供や食育活動も実施し、市の特産品である乳製品について理解を深めてもらう取組。

(2) 詳細

- ① 拓陽キスマイルの製造は地元の牧場の技術指導を受けながら製造している。原材料の生乳は本校で搾乳したものを 100% 使用し、無添加の乳酸菌飲料を開発した。
- ② 市との連携活動は今年で 6 年目となる。地域イベントへの積極的な参加により、地域の方々と交流を深めたり、メディアにも取り上げられたりと拓陽キスマイルの認知度も高まっている。
- ③ 牛乳との相性の良さを利用し、牛乳の消費量増加に向け取り組んだ。中でも、市内の小中学校へ製品を提供することで、牛乳嫌いな児童生徒に対し牛乳を飲めるきっかけを作ること、市の将来を担う子供たちに市の特産品である乳製品について理解を深めてもらう取組を行った。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 拓陽キスマイルの製造過程で、乳製品の製造技術を学んだり、現場で働く事業者の方々とも触れ合うことで、取組に参加した生徒が卒業後、酪農関係の就職を志す場合も多い。
- ② 拓陽キスマイルの認知度向上に伴い、地元のスーパーや道の駅にも製品を置いていただけるようになった。このような活動が認められ、平成 30 年に茨城県で開催された「第 1 回全国ヨーグルトサミット」では、事例発表校に選ばれた。



1 取組名

ものづくり教育・学習フォーラム

2 実施団体

団体名：大田区教育委員会

住 所：〒144-8623 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階

3 取組内容

(1) 概要

様々な協力団体・企業等と連携して、児童・生徒や保護者等を対象に大田区のものづくり産業への興味・関心を高める取組。ものづくり体験や舞台発表等のさまざまなイベントを行い、例年多数の来場者がある。

(2) 詳細

- ① ものづくりの重要性や技能・技術が果たす役割の理解、地域産業の重要性や、技術立国日本、ものづくりのまち大田の将来を支える人材の育成のため、区内公立小中学校、特別支援学校の児童・生徒によるものづくり作品の展示や舞台発表、ものづくり競技会、ものづくり体験などの取組を行っている。
- ② 上記取組を通じてものづくりへの興味・関心、社会・産業の理解の涵養による、地域への愛着の深化を図っている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 「ものづくり体験」「舞台発表」「作品展示」「ものづくり競技会」と、どの会場でも「ものづくり」に関するテーマで大田区のものづくり産業への児童・生徒や保護者・地域の方々の興味・関心を高めることができた。
- ② 大田区教育委員会の主催のもと、様々な協力団体・企業等と連携をし、実施を行っている。



1 取組名

「テクノ小千谷名匠塾」地域の企業全体で取り組む技術者養成制度

2 実施団体

団体名：小千谷鉄工電子協同組合

住 所：〒947-8691 新潟県小千谷市本町2-1-5 小千谷商工会議所内

3 取組内容

(1) 概要

組合が中心となり、地場産業である機械加工関係の技能を高い水準で維持、継承するよう、企業の垣根を越えて技能者を育成する取組。地域全体で取り組める制度ができたことで、地域産業全体の活性化にも寄与している。

(2) 詳細

- ① 新潟県中越地震からの復興と、団塊世代の一斉退職による技術者不足、技術力低下への対策のため、地域産業にとって大切な技術力の維持・継承を企業の枠を超えて技術者を養成する取組を継続中。
- ② 制度の開始当初は外部機関へ指導や講義を委託していたが、計画通りに進捗しなかったため、中越地震復興基金などからの支援を受け、訓練用機械と専門講師を揃えた組合専用の養成所である「テクノ小千谷名匠塾技術支援センター」を開設した。
- ③ 組合員に技能検定などの資格取得を奨励し、受験者には合格に向けた支援を行ったり、自治体や学校が実施する職業キャリア教育への協力・支援を行っている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 小千谷地域には大手の下請けにならず、独自の技術を持った企業が多い。その技術を組合が中心となり、高い水準で維持・継承できるよう地域全体で取り組める制度ができたことで、地域産業全体の活性化にも寄与している。
- ② 資格習得の奨励と受験者への支援により、以前は組合全体で1桁しかいなかった技能士が、現在（令和2年9月）ではテクノ小千谷名匠塾受講生だけで累計176名が技能士資格を取得している。



1 取組名

学校で学んだ技術を生かした地域貢献『実高ものづくり隊』

2 実施団体

団体名：石川県立大聖寺実業高等学校

住 所：〒922-8525 石川県加賀市熊坂町ヲ77番地

3 取組内容

(1) 概要

授業の実習や部活動を通して培った技術を活かし、地元の小中学校や公共施設等から要望を聞き取り、それに対応するものを製作したり修理したりして課題を解決し、ものづくりで地域に貢献する取組。

(2) 詳細

- ① 令和元年5月電子機械科の1年生によって、技術向上と地域貢献を目的とした『実高ものづくり隊』が結成された。市内小中学校・各種施設などから依頼を受け、令和元年度は「段差解消用スロープの製作」「学校備品の修理」「襖の引き手の修復」などの活動を行った。
- ② 令和2年度は新型コロナウイルス感染対策として「手指消毒ロボット」を製作するなど、依頼者とのコミュニケーションを図ることによって課題を解決し、高校生ならではの発想と行動力で地域に貢献し続けている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 学校で学んだ技術の効果や必要性を、依頼者を通じて実感することができ、課題を多面的観点から考え、克服し、達成感を得ることによって、学習意欲の喚起と実践的なスキルアップにつながることができた。
- ② 利用者からは高い評価をいただき、またコスト面等においても依頼者の負担が軽減されるなど、多くの感謝の言葉をいただき、地域貢献の観点からも果たす役割は大きい。



1 取組名

伝統建築専攻科 伝統建築の技を受け継ぐ人材を育てる

2 実施団体

団体名：熊本県立球磨工業高等学校

住 所：〒868-8515 熊本県人吉市城本町800番地

3 取組内容

(1) 概要

高等学校建築科卒業後の二年課程で宮大工になろうとする人材を育成している。その学生が地元地域の住民や被災者の方々からの依頼を中心に、建築物の新築や修復をする取組。取組を通して建築技術の継承・技能者の育成に寄与している。

(2) 詳細

- ① 平成元年度に設置された伝統建築コースでの学びを更に深めるために、二年課程の伝統建築専攻科を平成16年に開設。人吉球磨の文化財建造物を教材とし、日本の豊富な木材資源を活かせる人材の育成を目指している。併せて、建築様式の研究や規矩術の習得にも力を入れており、卒業生は日本の伝統建築を支える宮大工や檜皮葺関係の職人など、全国で活躍している。
- ② 地元人吉・球磨や熊本県内からの依頼を中心に、本格的な伝統的木造建築の祠・堂・神輿などを年2～3棟制作し納めてきた。新築が多いが、古建築の修復も数棟行ってきた。東日本大震災で被災した神社に仮社殿を奉納したり、熊本地震で被災した神社等の再建にも携わっている。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 「本物」の建築物を制作することで、建築技術の継承・技能者の育成に寄与している。また地域の文化を継承するために欠かせない取組として高い評価を受けており、依頼者が心の拠り所とする日本の伝統建築の姿を再現する職人としての自覚を得ることができる。
- ② 難易度の高い木材加工の技術を習得し、日本の伝統建築に関する知識を身につけることで、ものづくりに関わる強い職業観と倫理観を持って、伝統建築に携わる人材としてスタートを切ることができる。



(別紙3) 令和2年度「地域発！いいもの」選定証及び楯の伝達式日程等

令和2年度「地域発！いいもの」選定証及び楯の伝達は、以下のとおり実施予定となっております。

取材をご希望の報道関係者につきましては、「問い合わせ先」欄の担当者までご連絡をお願いいたします。

No.	都道府県	取組名称 応募企業・団体名	実施日時 実施場所	問い合わせ先
1	北海道	地域のブランド旭川家具を支える取組	令和3年3月11日(木) 13時00分	北海道技能振興コーナー 水野(みずの)
		旭川家具工業協同組合	場所 旭川家具工業協同組合 会議室 住所 北海道旭川市永山2条10-1-35	電話番号 011-825-2387
2	福島県	伝統技術「からむし織」伝承と後継者育成	令和3年3月19日(金) 13時30分	福島県技能振興コーナー 佐藤
		株式会社奥会津昭和村振興公社	場所 昭和村役場 村長室 住所 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652	電話番号 024-522-3677
3	栃木県	「拓陽キスマイル」で地域を活性化 ～届け私たちの思い 10,000人の後輩へ～	令和3年3月17日(水) 11時00分	栃木県技能振興コーナー 大木(おおき)
		栃木県立那須拓陽高等学校 食品化学同好会	場所 栃木県立那須拓陽高等学校 住所 栃木県那須塩原市下永田4-3-52	電話番号 028-612-3830
4	東京都	ものづくり教育・学習フォーラム	令和3年3月1日(月) 15時00分	東京都技能振興コーナー 深堀(ふかぼり)
		大田区教育委員会	場所 大田区教育委員会 教育委員会室 住所 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア 5階	電話番号 03-6631-6056
5	新潟県	「テクノ小千谷名匠塾」地域の企業全体で取り組む 技術者養成制度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しない	小千谷商工会議所 牛腸(ごちょう)
		小千谷鉄工電子協同組合		電話番号 0258-81-1300
6	石川県	学校で学んだ技術を生かした地域貢献『実高ものづくり隊』	令和3年3月18日(木) 10時00分	石川県技能振興コーナー 佐藤
		石川県立大聖寺実業高等学校	場所 石川県立大聖寺実業高等学校 住所 石川県加賀市熊坂町777	電話番号 076-254-6487
7	熊本県	伝統建築専攻科 伝統建築の技を受け継ぐ人材を育てる	令和3年3月17日(水) 11時00分	熊本県技能振興コーナー 重石(しげいし)
		熊本県立球磨工業高等学校	場所 熊本県立球磨工業高等学校 校長室 住所 熊本県人吉市城本町800	電話番号 096-289-5015

趣旨

- 日本の各地域で行われている、「技能振興」、「技能者育成(人材育成)」等に資する取組や制度を「地域発！いいもの」として選定する。
- 選定した取組等を広く国民へ周知することにより、地域における技能の振興を図るとともに、地方の活性化を図っていく。

募集対象

現に実施していて、以下のいずれかに該当する取組又は制度が対象。

- ①ものづくり産業に係る技能の振興に資するような地域における取組又は地域で制定した制度
- ②ものづくり産業に係る技能者育成に資するような地域における取組又は地域で制定した制度
- ③その他ものづくり産業の振興に資するような地域における取組又は地域で制定した制度。

選考方法

選定委員会において、①新規性、②独創性、③先見性、④地域特性の活用、⑤他者による応用性及び⑥取組の効果の観点で審査を行ったうえで、取組等を選定。

選定された取組等については、報道発表や技能検定制度等に係るポータルサイトへの掲載等を実施し、広く国民に周知を行う。
平成28年度の開始以来、令和元年度までに34の取組等が選定されている。

選定事例

『柳井縞(やないじま)の普及活動と後継者育成』(柳井縞の会)

大正初期以降「幻の織物」となっていた柳井縞を復興させ、織りの研究や技術習得のための研修を実施するとともに、小・中学校における機織体験等の授業を通して、その普及を図る取組。



『沖縄県の伝統的漆喰琉球赤瓦屋根施工技法の習得・継承及び後継者の育成活動』(沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合)

首里城等に代表される沖縄県独自の伝統的赤瓦建築文化財とその施工技法を残していくために、その修復をはじめ、沖縄県認定の琉球赤瓦施工技能評価試験を実施し後継者の育成等を図る取組。

